

基 調 講 演



うえむら ようこう

上村洋行氏 (公益財団法人司馬遼太郎記念財団理事長／司馬遼太郎記念館館長)

1943年(昭和18年)東大阪市生まれ。
同志社大学法学部法律学科卒業後、1967年(昭和42年)産経新聞社入社。京都支局が振り出しで記者生活。1970年(昭和45年)大阪本社編集局社会部。その後、京都支局次長、文化部次長、メディア報道部長。1995年(平成7年)京都総局長。1996年(平成8年)大阪本社編集局次長。

1996年 司馬遼太郎記念財団設立。同常務理事
1999年 司馬遼太郎記念財団専務理事
2001年 司馬遼太郎記念館館長(兼務)
2012年 公益財団法人司馬遼太郎記念財団理事長

パネルディスカッションパネリスト



あべ りゅうたろう

安部龍太郎氏 (作家)

1955年(昭和30年)6月福岡県八女市(旧・黒木町)生まれ。
久留米工業高等専門学校機械工学科卒。東京都大田区役所に就職、後に図書館司書を務める。その間に数々の新人賞に応募し『師直の恋』で佳作となる。1990年(平成2年)に発表した『血の日本史』でデビュー。この作品で注目を集め『隆慶一郎が最後に会いたかった男』という伝説がうまれた。

作品に『関ヶ原連判状』『信長燃ゆ』『等伯』『迷宮の月』など多数。

安部龍太郎オフィシャルサイト <https://aberyutarou.com/>

2005年『天馬、翔ける』で第11回中山義秀文学賞を受賞
2013年『等伯』で第148回直木賞受賞
2015年 福岡県文化賞受賞
2017年 福岡市文化賞受賞
2020年 京都府文化賞受賞
<近著>
2020年7月～(最新作)『家康1～6』幻冬舎
2021年7月『特攻隊と大刀洗飛行場』PHP出版
2021年7月『対決！日本史2 幕末から維新篇』潮出版社
2021年7月『シルクロード・仏の道紀行』潮出版社



さわだ とうこ

澤田瞳子氏 (作家)

1977年(昭和52年)京都府生まれ。
同志社大学文学部卒業、同大学院博士前期課程修了。
奈良仏教制度史の研究に携わった後、2010年(平成22年)に長編作品『孤鷹の天』でデビューし、同作で第17回中山義秀文学賞を最年少受賞。2013年(平成25年)『満つる月の如し 仏師・定朝』で第32回新田次郎文学賞、2016年(平成28年)『若冲』で第9回親鸞賞、2020年(令和2年)『駆け入りの寺』で

第14回舟橋聖一文学賞、『星落ちて、なお』で第165回直木三十五賞をそれぞれ受賞。

現在、同志社大学客員教授。2019年(令和元年)から2020年(令和2年)6月まで毎日新聞夕刊に掲載された連載小説『恋ふるむ鳥は』では、万葉歌人・額田王を主人公に近江京の興亡を描いた。



いむら しょうご

今村翔吾氏 (作家)

1984年(昭和59年)京都府生まれ、滋賀県在住。
ダンスインストラクター、作曲家、守山市埋蔵文化財調査員を経て作家デビュー。
2016年(平成28年)『狐の城』で第23回九州さが大衆文学賞大賞・笹沢左保賞受賞。2018年(平成30年)『童神』で第10回角川春樹小説賞受賞。『童の神』(『童神』改題;角川春樹事務所)で第160回直木賞候補。2020年(令和2年)『八本目の槍』(新潮社)で

第41回吉川英治文学新人賞、第8回野村胡堂文学賞受賞。『じんかん』(講談社)で第163回直木賞候補、第11回山田風太郎賞受賞。2021年(令和3年)『羽州ぼろ鷹組シリーズ』(祥伝社)で第6回吉川英治文庫賞受賞。
TBS報道番組(JNN系列)『Nスタ』レギュラーコメンテーター出演中。

コーディネーター



ふるや かずお

古屋和雄氏 (文化外国語専門学校校長・元NHK エグゼクティブアナウンサー)

1949年(昭和24年)10月1日 山梨県富士河口湖町生まれ、富山県育ち。
1972年(昭和47年)3月 早稲田大学第一政経学部政治学科卒業。
4月 NHK入局。東京のほか福井・釧路・大阪放送局に勤務。
2013年(平成25年)3月 Eテレ「ここが聞きたい! 名医にQ」ラジオ第一放送「日曜バラエティー」を以てNHKを卒業。
同 年 4月 代々木にある文化学園大学に教授として就任。担当講義は、「TVジャーナリズム論」「マスメディア」
同 年 7月 文化外国語専門学校 校長を兼任。
菜の花忌シンポジウムの司会を長年務めている。

シンポジウムの参加申込について

応募者多数の場合は抽選を行います。抽選結果は参加チケットの発送をもってかえさせていただきます。

【ネット申込】公式HPから同伴3名までお申込みいただけます。フォームに必要事項(氏名、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、3名までの同伴者氏名、配慮が必要な方はその内容)をご記入ください。公式HPは左記2次元コードか下記URLから。



<https://omibunka.com>

【ハガキ申込】10/12(火)消印有効
宛 先 〒520-0818 滋賀県大津市西の庄19-10 リンクスビル
株式会社エフエム滋賀 司馬遼太郎記念シンポジウム 係
必ず通信面に必要事項(代表者の氏名・生年月日・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス・3名までの同伴者の氏名・配慮が必要な方はその内容)をご記入ください。
問合せ電話番号 (株)エフエム滋賀 **077-527-0814** (平日9:00~17:00)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。